

# 家庭科、技術・家庭科(家庭分野) | 時間の授業の過程

## 【ねらい】

★本時の授業のねらいを明確にする。

ねらいの表記の例

- ・～に気付き(わかり)・・・が(どこまで)わかる。(・・・どこまでできる)
  - ・～という考え方で・・・できる。
  - ・～に着目し、・・・できる(わかる)。
- など

過程	◆子どもの学習活動	○着眼点/指導・評価/・留意事項
授業前	◆学習の構えができています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間までに落ち着いて席に着き、授業に入る構えができています。</li> <li>・授業の内容に合った服装が整っている。</li> <li>・用具・材料の準備ができています。</li> </ul> ◆教科係が見通しをもって活動している。(学校、学年の実態に応じて) <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面や準備に関わる確認等をする。</li> <li>・1時間の目標を具体的に話す。</li> </ul>	○授業に向かうための構えができていますか。 ○自分たちで授業を創ろうという意識がもてているか。  ・学習の三構え(心構え・身構え・物構え)の習慣を大切にできるようにする。  ・教科係が本時の授業について見通しをもって活動できるように助言しておく。
導入	◆願いをもつ。問題意識をもつ。 「前の時間は～だった。今日はこんな学習を試してみたい。」 「自分の家でやってみたら(調べてみたら)～だった。どうして～なのだろう。」 「こんな～を作ってみたい(作れるようになりたい)。」	○様々な願いや憧れをもったり、疑問や問題点を見いだしたりして、必然性のある課題につなげる。  ①既習学習や体験の想起 ②前時の学習の振り返り ③直接体験の交流・取材活動や調査活動の交流 ④資料の提示による問題意識 ⑤示範、資料・実験・動画視聴等によるあこがれや願い ⑥実際の体験活動 ⑦手順の再確認
課題設定	◆課題をつかむ。 「今日は～について追究していく。」	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>課題解決の必然性のある学習課題の設定</b> </div>
課題追究	◆課題解決の見通しをもち、学習課題に対しての自分の立場(考え)を明らかにする。 「この視点でかんがえていけばいいのだな。」 「こういう手順でやればできるのだな。」 「自分は～な方法でやってみよう。」 「この部分を～にしたいから、○○に気をつけて作ろう。」	○課題解決の見通しをもち、学習課題に対しての自分の立場を明らかにし、解決に向かっていくか。  ・課題を追究するために、必要事項を把握できるようにする。 ・課題解決の根拠や解決方法を明確になる方向付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「何」に着目して課題に迫るのか。その根拠は何か。</li> <li>・「なぜその思いになるのか」「どうしてそう考えるのか。」等の根拠を明確にするために、考えを書いたり仲間と交流したりする等の活動を位置付ける。</li> </ul>
	◆自分の考えをもとに課題解決に取り組む。  ・1人1台端末の有効活用他(参考) ※東濃教育事務所 ICT 活用リーフレット等	○主体的な活動となるための見通しがもてるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いつ」「どこまで」「どのように」進めるか、その追究の筋道を明確にする。</li> </ul> ○自分で課題に立ち向かう姿を確認し、価値付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が課題に対しての自分の考えをもっているかを机間指導の中で確認する。</li> </ul> ○ペア・グループ(生活・課題別・方法別・経験別・ペース別)等の学習形態を工夫する場合は、「何のためにその活動を行うのか」を明確にしてから向えるようにする。

	<p>◆願いの実現・課題解決に向かっているのか、また、学習によりどの程度、実現・解決できているのかを見つめる。(自己評価・相互評価)</p>	<p>○主体的な学習、個に応じた指導・学習の個性化等、援助の方法は考えているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認め励まし、つまずいている児童生徒、つまずきが予想される児童生徒への援助や机間指導をする。 「どんな言葉がけを」「どのような手立てで」</li> <li>・自己評価・相互評価をする場合、「何を」「どこで」「どのように」「どの程度」をもって評価できるようにする。</li> <li>・ねらいに対する適切な方法により適切な評価をする。</li> </ul>
課題追究	<p>◆学び合いの中から、よりよい解決方法を見だし、ねばり強く取り組む。 「～さんの方法の・・・がいいな。私の◇◇にも取り入れていきたい。」 「私のは～だけど、〇〇さんのはどうして・・・になっているの。」 「なるほど。だから～するのか。」 「～ということに気をつけていけば(大切にしていけば) 〇〇できるんだ。」</p>	<p>○課題に対する自分や仲間の解決の視点や考えのよさに気付き、より自信をもったり、よさを取り入れたいようとしているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに、考えを深め、ねらいを達成できるように問い返し等を行う。</li> <li>・個々の考えのよさを価値付け、広める。 「～さんは～という視点(立場)からの意見だよ。他の人はどう考える？」</li> <li>・互いの捉え方の共通点や相違点を明確にする問いかけをする。 「～さんはこう考え、…さんはこう検討したよ。二つの意見の違いやそれぞれのよさを見つけていけるかな。～さんはどう考えていく。」</li> <li>・子どもの追究したことをまとめて焦点化したり、新たな視点を提示したりする。 「～さんや…さんの意見をまとめるとこういうところがよりよくなっていくね。」「・・・という視点から考えた仲間が多かったけれど、新たに〇〇の視点から考えていくと、どんな変化があるかな。」など</li> </ul> <div data-bbox="885 1131 1524 1288" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【考えを深めるための方途】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問い返し (発言の類型化・組織化)</li> <li>・資料の提示 (考えを深める資料)</li> <li>・板書 (類型化・組織化)</li> <li>・評価 (言葉がけ・朱書き等) など</li> </ul> </div>
まとめ	<p>◆課題に対して、学んだことを書きまとめたり、キーワードを用いてまとめたり、評価問題等に取り組んだりする。そのことを通して、自分の学びが、生活の中の他の場面でも活用できるものになっているかを確認する。</p> <p>「最初は、◇◇だと思っていたけれど、～さんの考えを聞いて、よりよくするには・・・だと考えられるようになった。」 「～さんの△△の考えを取り入れてやってみたら、□□できた。(わかった)」 「～な時は△△に気をつけて(大切にしていれば) やればよいことが分かった。今度は〇〇でやってみたい。」 など</p> <p>◆教科系の評価(学校、学年の実態に応じて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対するまとめを発表する。</li> <li>・何ができた、わかったのか。</li> <li>・どうして、どのようにできた、わかったのか等今日の授業で仲間の発言や姿でどんなことが学べたのかを発表する。</li> </ul> <p>◆後片づけを行う。整理・整とん、用具・道具の安全確認を行う。</p>	<p>○子どもが授業での学びを振り返り、「できた・わかった・よりよくなった・生活に生かしていきたい」等実感できる場を設定しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいが達成できた姿や発言を具体的に子供の姿で思い描いておく。 ★<b>指導と評価の一体化</b></li> <li>・本時の課題に対して学んだことを書きまとめたり、キーワードを活用してまとめたり、評価問題等に取り組んだりできる場を位置付ける。</li> <li>・タブレットを有効活用し、学びの蓄積をする。例えば、ポータフォリオによる「主体的に学習に取り組む態度」を見取る等。</li> <li>★「子供たちにどのような力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え教師の指導改善に繋がるものにする。</li> </ul> <p>○教師の評価・価値付けによって「評価規準3観点」ごとの学び方の価値付け、方向付けができたか。</p> <p>○課題が解決できたという達成感や実践の喜びをもち、家庭学習で復習し、自分の生活で実践していこうとする意欲を高めることにつながったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対する内容を家庭学習・実践、次時の見直しにつながる助言等をしておく。</li> <li>・片付けの見届け、安全管理等を徹底する。</li> </ul>

